

厳冬期避難所展開・宿泊演習 2027 実施要領

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター
センター長 根本 昌宏

1. 開催趣旨

日本赤十字北海道看護大学は、寒冷期に災害が生じた際の対応策を実践的に明らかにすることを目的に研究を推進しています。冬期の停電を伴う災害は既存の暖房機器を使用不能とし、避難所として指定されている場所においても低温により命を落とす恐れがあります。2026 年 1 月に実施した 13 回目の厳冬期災害演習 2026 は、外気温がマイナス 10℃まで低下する中、迅速展開と避難生活に対する実用性に重点を置いて様々な検証を実施し、多くの成果とともに課題を見出しました。

2026 年 7 月 28 日に発災した令和 8 年熊本地震は酷暑期の避難所対策の難しさを浮き彫りにし、室内環境を調整することの重要性を認識させました。厳冬期避難所展開・宿泊演習 2027（通称：厳冬期災害演習 2027）は、下記に掲げる項目について 2 日間にわたり検証を行います。すべてのプログラム（演習）を修了した参加者に修了証を交付いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2. 開催要領

1) 日時：2027 年 1 月 16 日（土）13 時 00 分 ～ 1 月 17 日（日）12 時 00 分

2) 場所：日本赤十字北海道看護大学 講堂、体育館、食堂、屋外ほか
(北見市曙町 664 番地 1 電話 0157-66-3311)

3) 参加者

①対象：災害保健・医療・福祉関係者、赤十字関係者、防災行政担当者、大学関係者、指定した資機材関係業者、その他本学が特に必要と認めた者のみとします。一般の方の参加はできません。
すべてのプログラムを修了された参加者に厳冬期災害演習 2027 修了証明書を交付いたします。

②定員：要事前登録 100 名（定員となり次第締め切り）

③参加費：1,000 円（食材費、消耗品費ならびに保険代として）当日受付支払
報道・取材の方は無料ですが食事が必要な場合は有料です

④事前登録期限：2026 年 12 月 25 日（金）（定員になり次第締め切らせて頂きます）
避難所環境を整えるため定員を削減しております。ご注意ください。

4) 主催：日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター

共催：日本赤十字社北海道支部、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所（すべて予定）

後援：国土交通省北海道開発局網走開発建設部、北海道オホーツク総合振興局、北見市
避難所・避難生活学会（すべて予定）

5) 厳冬期災害演習 2027 の検証内容

①厳冬期を断水・停電を想定した福祉避難所の検証

- ②避難所開設時ベッド化の実践
- ③人の尊厳を護るセキュリティを配慮したテント on the ベッドの展開
- ④保温・加温・遮蔽の観点を踏まえた環境温度対策の検証
- ⑤蓄電池を使用したレンジ・ポットの充実化による適温食と配慮食の検証
- ⑥屋外サウナテント・濡れない足湯を活用した温熱機材の検証
- ⑦避難所環境指標の見える化
- ⑧その他新規検証事項

6) 本演習の公表

本演習は成果を広く防災関係者ならびに寒冷地域に暮らす市民に周知するため、新聞、テレビ等すべてのメディアに公開・公表します。

7) 問い合わせ先

本演習に関するお問い合わせ先

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター

電話 0157 (66) 3311 FAX 0157 (61) 3125

メール bousai@rchokkaido-cn.ac.jp